

しなののうた

遙かにも戸隠山を望む野にいにしへ偲ぶ女人結界



杉田小百合

しなののうた

いちめん穂芒揺るる高原に今しも白狐顕れそうな

杉田小百合



しなののうた

野仏が芒に包まれ傍に野紺菊咲き
穏やかに過ぐ



杉田小百合

しなののうた

ひときはに目立ち色づく七竈ひと雨ごとに深みゆく秋

杉田小百合



しなののうた

銀杏葉の愛書に栞挟まれて若き日の夢甦りくる



杉田小百合